

平成20年度事業報告について（案）

平成20年度事業計画に基づき、下記事業を実施した。

【調査研究事業】

[事業計画]

「九州広域における危機管理情報に即応するICT基盤技術並びにサービスプラットフォームの在り方に関する調査検討」

- (1) 総務省九州総合通信局実施の「九州広域ICTプラットフォーム調査検討会」活動と連携した調査研究事業
- (2) 広域防災情報共有化システム(WIDIS)の具体的活用策の検討

[事業実績]

- (1) 「九州広域ICTプラットフォーム調査検討会」との連携

2つの実証実験（別紙参考資料1参照）を行い、基盤となる広域ネットワークシステムの接続技術、また広域ICTプラットフォーム上で求められるアプリケーションサービスモデル等についての検討を進めた。

- ・ 県境における危機管理情報の広域共有化実証実験

(H20.11.13 大分県～宮崎県間)

- ・ 条件不利地域で発生した危機管理情報を効率的に伝送するためのネットワーク構築実験 (H20.12.05 宮崎県美郷町)

なお、検討結果の詳細については、上記調査検討会の最終報告書の中で取りまとめている。(別紙参考資料2参照)

また、本調査検討の成果を幅広く紹介するシンポジウムを開催した。

(H21.02.24 大分市 別紙資料3参照)

- (2) 広域防災情報共有化システム(WIDIS)の活用

WIDIS初期開発者との開発ノウハウの共有等を一層進め、新たに九州版のシステムとして、「九州広域防災ポータルサイト」の開発を行い、試験運用を開始した。(別紙参考資料4参照)

- (3) その他

研究コーディネート事業として、地域内での活用に留まっている、いわゆる「地域に埋もれたコンテンツ」をより有効に活用していくための「地域コンテンツ高度利活用調査研究」を佐賀で実施した。(別紙資料5参照)

【人材育成支援事業】

[事業計画]

- (1) 「九州ICTオープンスクールの開催」
- (2) 「KIAI事業を通じたPBL展開」

[事業実績]

- (1) 佐賀を開催地とし、「九州ICTオープンスクールin佐賀」を開催した。
今回は、地域情報化をテーマとしたグループミーティングを中心とした課題解決型の手法を取り入れた内容とした。
(H21.03.27-28 別紙参考資料6参照)
- (2) 九州広域ICTプラットフォーム調査検討における実証実験に具体的に学生に参加してもらい、新たな研究課題への取り組みを行ってもらった。
(H20.12.05～ 大分大学と連携開始)

【ICT啓発関連事業】

[事業計画]

- (1) 「九州地域情報化研究会の実施」
- (2) 「総会記念シンポジウム開催」
- (3) 「九州JGN2plusシンポジウムとの合同シンポジウム開催」

[事業実績]

- (1) 長崎県五島市を開催地とし、「ユビキタス社会における離島振興」をテーマとして実施した。(H21.01.22-23 別紙参考資料7参照)
- (2) (H20.07.11 別紙参考資料8参照)
- (3) 九州広域ICTプラットフォーム調査検討会における成果発表シンポジウムと併催の形で実施した。(H21.02.24 別紙参考資料3参照)
- (4) その他

[出演・技術支援等]

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| H20.08.28 | 第229回RISTフォーラム出演・後援(熊本市) |
| H20.10.01 | テストベッドネットワーク推進WG会合出演(千葉市) |
| H20.10.31 | 条件不利地域におけるブロードバンド導入公開実験出演(八女市) |
| H20.11.14-15 | 九州インターネットプロジェクトワークショップ支援(福岡市) |
| H20.12.19 | JGN2plus岩手中部WiMAX研究会出演(岩手県盛岡市) |

【ICT 啓発関連事業】

[事業実績]

(4) その他

[後援]

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| H20. 10. 21 | ものづくりフェア・セミナー後援（福岡市） |
| H20. 10. 26 | 教科書教科「情報」シンポジウム in 九州後援（北九州市） |
| H20. 10. 31 | ブロードバンド利活用セミナー後援（新潟県十日町市） |
| H20. 11. 05 | 平成 20 年度九経連情報通信委員会講演会后援（福岡市） |
| H20. 12. 15 | 平成 20 年度 九経連情報通信委員会講演会后援（福岡市） |
| H21. 01. 29 | NICT 九州リサーチセンターワークショップ 2009 後援（北九州市） |

【参考資料1】九州広域ICTプラットフォーム調査検討実証実験

◇実証実験1 県境における危機管理情報の広域共有化実証実験

実施日：平成20年11月13日（木）14:00～16:00

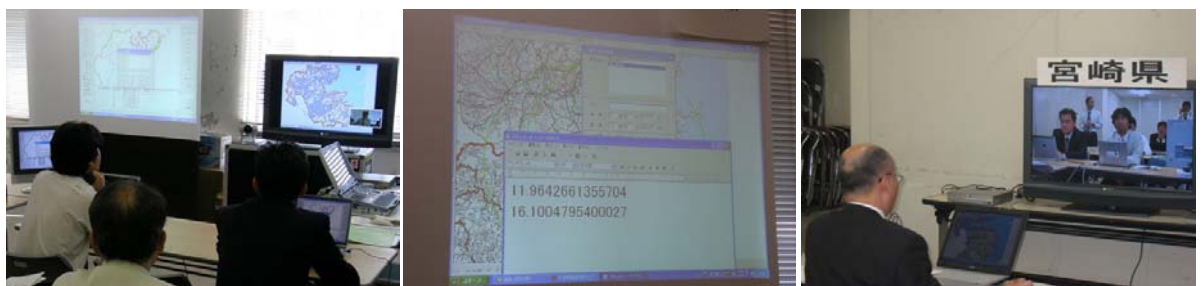
実施場所：大分県庁 301 会議室、宮崎県庁 741 会議室

内容：大分県庁と宮崎県庁間との連携ネットワークを構成し、同じアプリケーションソフトを利用した仮想のプラットフォームを構築。連携情報の質や量、システムの操作性等及び連携の有効性・有用性について検証。県間協議のルール作成の必要性についても指摘。

参加者：20名（大分県、宮崎県各10名）

九州広域ICTプラットフォーム調査研究 実証実験1 全体構成図

県境の複数地点による家畜伝染病の発生時における共通のアプリケーション、テレビ会議システムを利用した防疫情報の共有化による防疫対策への有効性を検証



実証実験の様子（左・宮崎県庁側、中央・GIS座標通知、右・大分県庁側）

◇実証実験2 条件不利地域における危機管理情報伝送のためのネットワーク構築実験

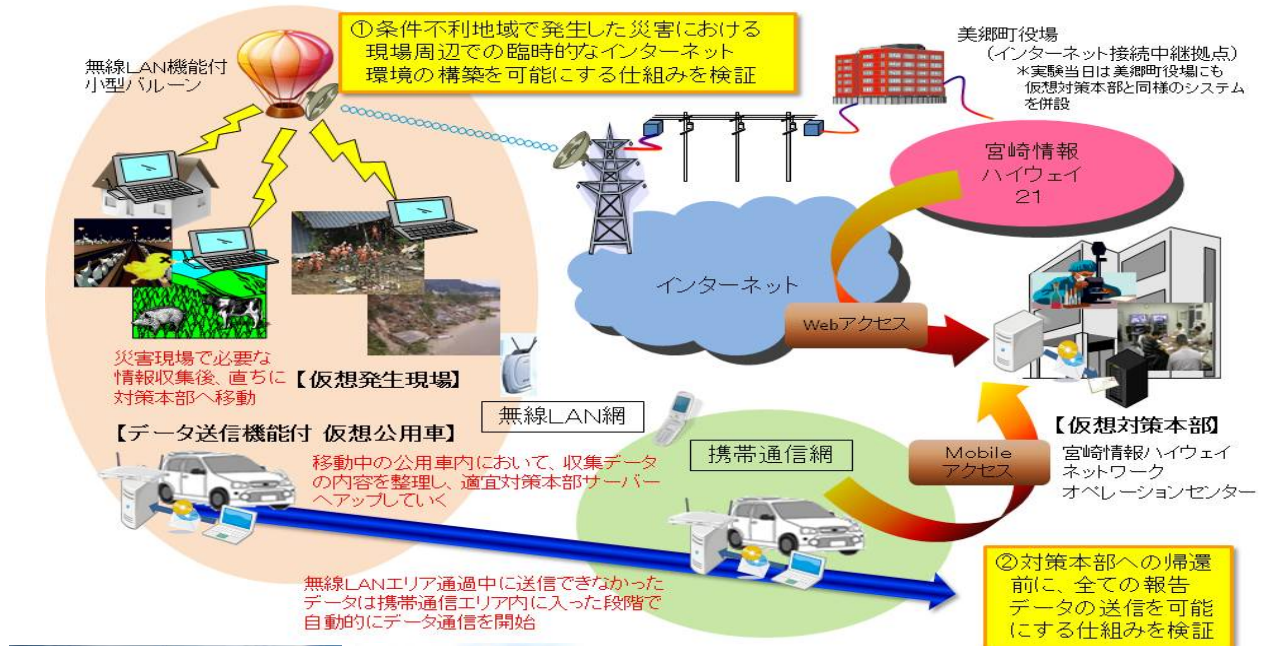
実施日：平成20年12月5日（金）14:00～15:00

実施場所：宮崎県東臼杵郡美郷町

内容：条件不利地域（携帯電話も利用できない地域）で発生した危機管理情報に対して、無線LAN装置を搭載した小型バルーンによる臨時的なネットワーク環境を構築。断続的な通信環境においても、自然災害、防疫（家畜伝染病等）など緊急を要する様々な危機管理対策をより迅速かつ効率的にデータ伝送を補償する通信手段の確立を実現する情報通信システムについて、フィールド実験により技術的に検証。

参加者：30名

九州広域ICTプラットフォーム調査研究 実証実験2 全体構成図



打ち上げられた無線LAN搭載バルーン



移動実験中の実験車両及び社内の様子



仮想現場におけるTV会議（上）及びGISシステム（下）

【参考資料3】九州広域ICTプラットフォーム調査検討成果発表シンポジウム

九州広域ICTプラットフォームシンポジウム in 大分

日時：平成21年2月24日（火） 13：30～17：00

会場：大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」大会議室
（大分市東春日町1-1）

主催：総務省九州総合通信局、九州広域ICTプラットフォーム調査検討会、
次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会

後援：九州情報通信連携推進協議会、大分県
独立行政法人情報通信研究機構大手町ネットワーク統括研究センター、
社団法人九州テレコム振興センター、九州インターネットプロジェクト
総務省北陸総合通信局、JGN2plus 北陸地区推進協議会
（回線提供：JGN2plus、宮崎情報ハイウェイ21、豊の国ハイパーネットワーク）

参加者：92名

内容：「九州広域ICTプラットフォーム」の実現に向け、九州広域ICTプラットフォーム調査検討会において実施した実証実験のデモンストレーション等を交えながら、危機管理情報の共有化のための最新の技術動向や、広域ICTプラットフォームの実現に向けた制度的、技術的諸課題とその解決策について、危機管理情報の専門家及び有識者、九州のICT関係者から広く意見をいただいた。

◇基調講演 「危機管理対応情報共有技術による減災対策」

鈴木 猛康 山梨大学大学院教授（特定非営利活動法人防災推進機構 理事長）

◇プレゼンテーション 「危機管理情報の広域共有化に向けた実証実験の取り組み」 コーディネーター

西野 浩明 大分大学工学部准教授（調査検討会座長代理）

プレゼンター

小林 信喜 九州総合通信局情報通信連携推進課 課長

長友 信裕 宮崎地域インターネット協議会 副会長（調査検討会作業部会長）

広岡 淳二 九州情報通信連携推進協議会 事務局長

◇パネルディスカッション

「九州広域ICTプラットフォームによる安心・安全な地域社会の形成に向けて」

コーディネーター

尾家 祐二 九州工業大学大学院教授（調査検討会座長）

パネリスト

池ノ上 克 宮崎大学医学部長・産婦人科教授【遠隔出演】

堀井 洋一郎 宮崎大学農学部獣医学科教授

宮川 明大 石川県七尾市企画政策部情報政策課【遠隔出演】

山崎 正幸 九州経済連合会情報通信委員会企画部会長

山戸 康弘 大分県企画振興部 IT 推進課 課長



来賓挨拶・大分県平野副知事



基調講演・鈴木教授（山梨大学）



プレゼンテーションの様子



遠隔中継参加・小田課長美郷町、



パネルディスカッションの様子



遠隔会議画面（会場/宮崎大/七尾市）



会場の様子



閉会挨拶する座長・尾家教授

【参考資料4】九州広域防災ポータルサイト

インターネットが社会インフラとしても着実に定着し、その重要度はますます高くなってきている近年、社会における危機管理意識の向上はあるものの、地震、津波、台風などの自然災害を始め、火災、テロ・治安対策、新型インフルエンザ対策など、危機管理に対しての総合的な情報収集・管理は、行政、地域においてもいまだ不十分な状況にある。

そのような中、汎用地図情報（電子国土）を用いたさまざまな危機管理に関する情報を統合的に管理可能とする『統合情報管理プラットフォーム』のサービス化に向けた検討を実施。本研究により、社会における危機管理意識のさらなる向上や非常災害時における迅速な情報提供・取得を可能とし、地域のみなさまの安心・安全に寄与することを目指す。

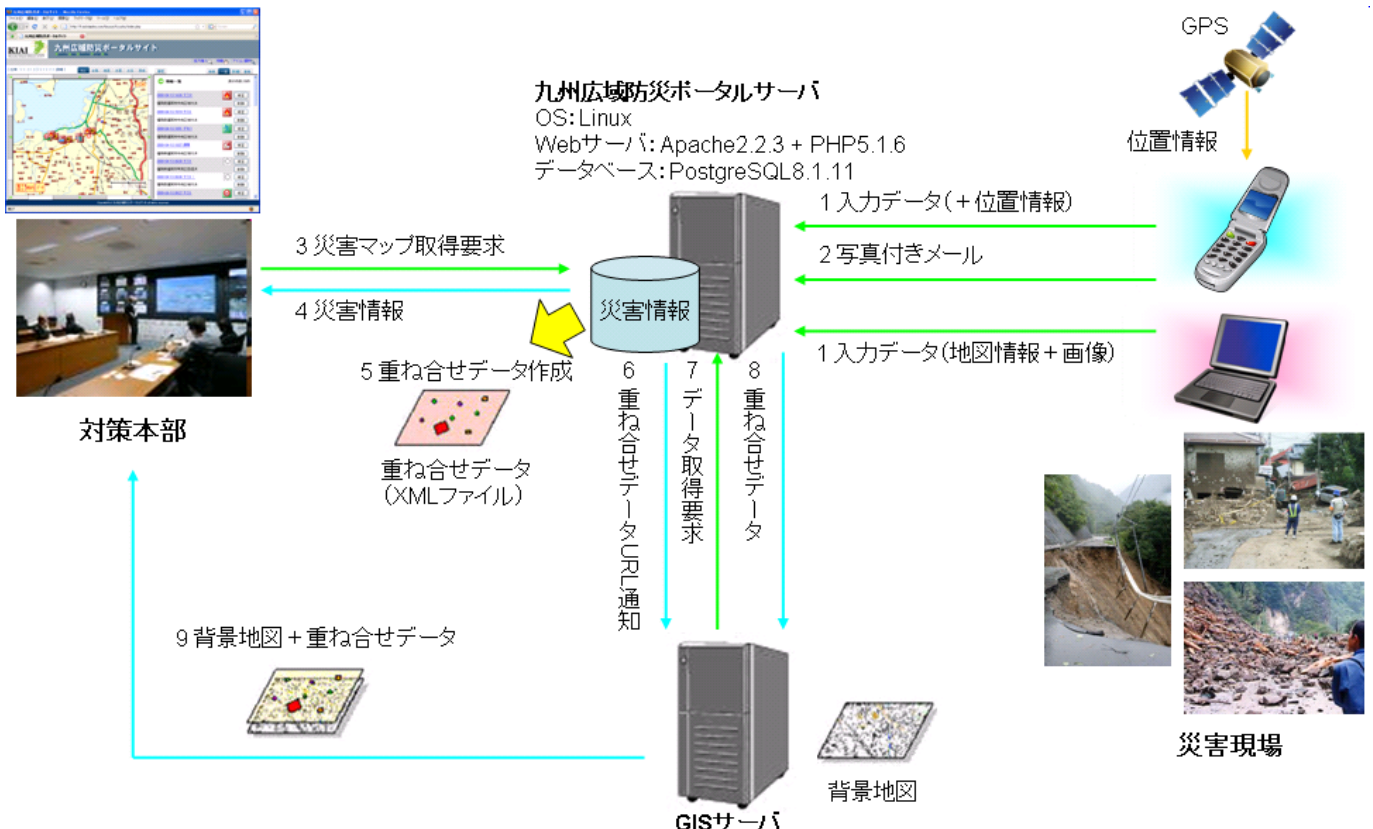
◇ポータルサイト概要

《機能》

- ・ 図形データも含めた多様な登録情報を要件に応じて検索・表示
- ・ 日本郵便提供の住所データによる地図移動・検索・登録
- ・ 動画（フラッシュビデオ）・静止画を簡易に登録・共有
- ・ 携帯電話のGPS機能を用いた登録地点の自動位置入力
- ・ 電子国土からグーグルマップへの表示切替
- ・ 登録更新情報等のメール配信（自動・手動）
- ・ 登録情報のデータ出力（CSV形式：Excelファイルで出力）

ープレゼン実施済自治体ー

福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、宮崎県、宮崎市、八女市、えびの市



【参考資料5】地域コンテンツ高度利活用調査研究

地域内での活用に留まっている情報コンテンツ、いわゆる『埋もれたローカルコンテンツ』を流通媒体や配信方法の多様化によって高度利活用するための技術検証実験を実施。

将来的には、行政情報や地域 SNS などに分散しているローカルコンテンツを自動的に収集して、携帯電話、パソコン、データ放送などの多様なメディアに一括配信することにより『埋もれたローカルコンテンツ』の高度利活用が可能になる。また、利用者特性に従ったコンテンツ提供が可能なることから観光、防災、医療、教育などの様々な分野での応用も考えられ、コンテンツ流通促進分野における新たなビジネス創出による地域社会の活性化が期待される。

◇研究会概要

■研究会発足：平成 20 年 12 月 19 日（金）

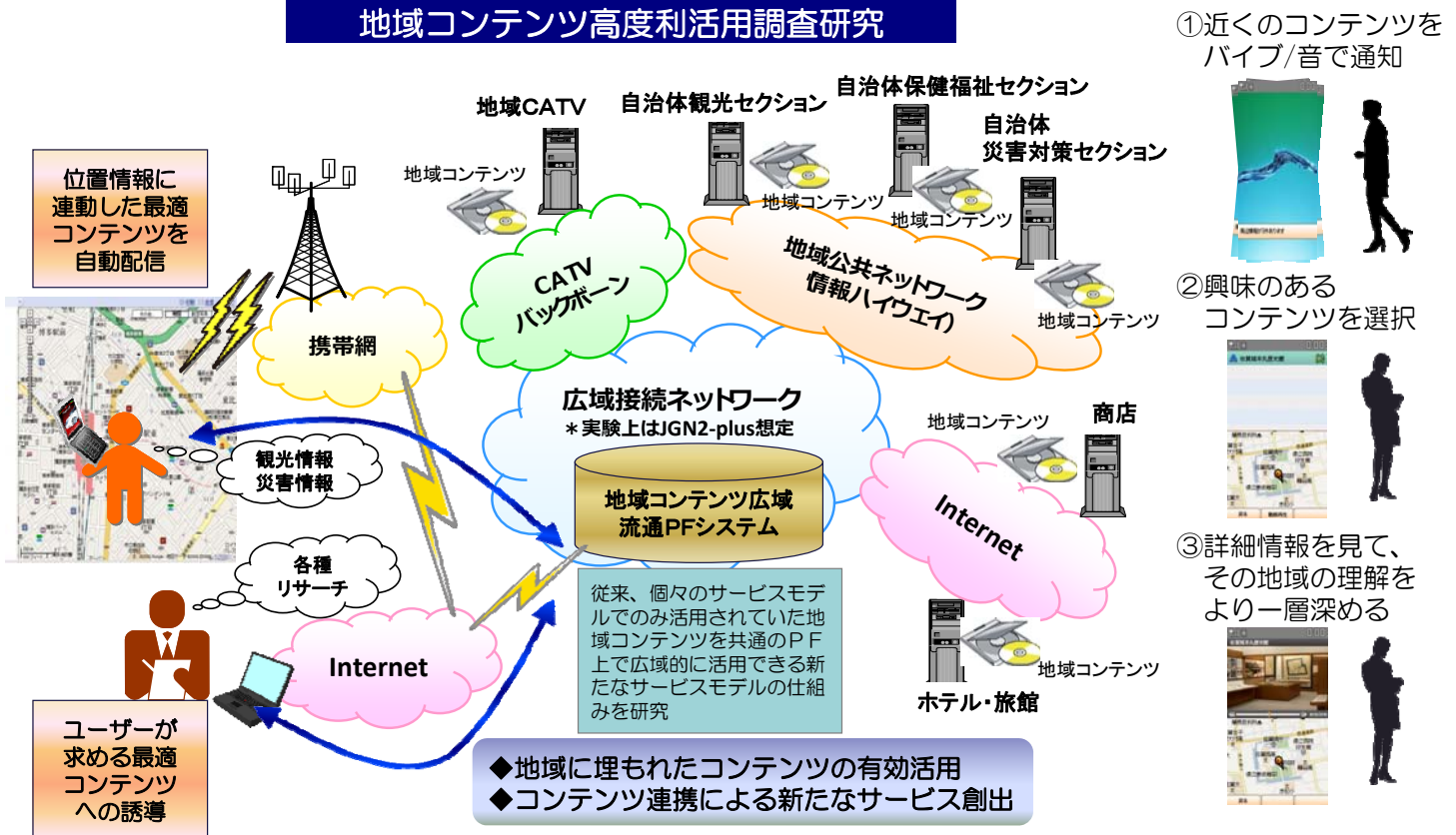
《実施体制》

- ・コーディネート：KIAI、NPO 法人 NetCom さが
- ・実施主体：佐賀ケーブルビジョン、KDDI 研究所、デジタルコミュニケーション佐賀
- ・オブザーバー：佐賀県統括本部 情報・業務改革課、佐賀新聞社
唐津ケーブルテレビジョン、伊万里ケーブルテレビジョン
Cable One

■佐賀市内でのフィールド予備実験：平成 21 年 3 月 30 日（月）

■研究成果報告会実施：平成 21 年 4 月 27 日（月）

地域コンテンツ高度利活用調査研究



〔地域コンテンツ高度利用調査研究イメージ〕

【参考資料6】九州 ICT オープンスクール in 佐賀

主に九州内の若手 ICT 研究者（学生含む）を対象に、最新の研究開発情報の提供並びに幅広い意見交換の場を設け、研究者間相互の連携はもとより、産学官地域の連携をより一層強化していくことにより、今後の九州における ICT 研究の更なる活性化、及び九州地域の高度情報化促進を図っていくことを目的に 1泊2日の日程で開催。

佐賀大学を会場に将来の情報通信業界を担う大学生を対象に、日頃の研究テーマ等に関する発表および地域情報化の課題に対する解決策の検討を行い、自治体、大学関係者、企業から多数ご意見をいただいた。

◇スクール概要

開催日：平成 21 年 3 月 27 日（金）13:00 ～ 28 日（土）12:40

会 場：佐賀大学工学部 6 号館 2F 多目的セミナー室

共 催：九州ギガポッププロジェクト、九州インターネットプロジェクト、九州総合通信局

後 援：社団法人九州経済連合会、NetCom さが

参加者：33 名

日時	内 容
3/27 (土)	◇開会挨拶 ◇スケジュール説明 (KIAI概要説明) ◇参加者紹介 ◇最新研究動向発表：5分程度／大学×8大学 ◇課題解決ワーキング～第1部～ ・検討テーマ説明 (検討テーマ) 『ICTを用いた九州地域の活性化策について』 ・自治体の地域情報化施策現状説明 ・グループ別テーマ検討 ◇交流会 ◇課題解決ワーキング～第2部～ ・KIAIの検討事例紹介 ・グループ別テーマ検討
3/28 (土)	◇課題解決ワーキング～第3部～ ・グループ別テーマ検討結果総仕上げ ・検討結果発表 (×3グループ) ◇質疑応答 ◇講 評

【参加者】 計 33名

- ◇大学(先生9名、学生11名)
- ・九州大学(先:1、学:2)
 - ・九州工業大学(先:1、学:2)
 - ・九州産業大学(先:1)
 - ・佐賀大学(先:1、学:2)
 - ・長崎大学(先:1、学:1)
 - ・長崎総合科学大学(先:1)
 - ・熊本大学(先:1、学:1)
 - ・宮崎公立大学(先:1、学:1)
 - ・鹿児島大学(先:1、学:2)

◇自治体(4名)

- ・福岡県(1名)
- ・長崎県(1名)
- ・佐賀県(1名)
- ・熊本県(1名)

◇KIAIメンバー&事務局(9名)



スクールの様子（左・グループ検討、中央・検討結果発表、右・質疑応答）

【参考資料7】九州地域情報化研究会 in 五島

デジタルデバインド解消、ICT人材育成等、地域が抱える情報通信分野の様々な課題に関するワークショップを実施。今年度は長崎県五島市で開催し、ユビキタス社会における離島振興をテーマに、ユーザー視点でICTを活用した地域活性化について昼夜にわたり討論。

◇研究会概要

開催日：平成21年1月22日（木）13:00～23日（金）12:00

会場：五島市福江文化会館及び五島コンカナ王国

（長崎県五島市池田町1-2）（同市上大津町2413）

主催：九州情報通信連携推進協議会

共催：五島市、九州総合通信局

協賛：財団法人テレコム先端技術研究支援センター、ニシム電子工業(株)

後援：長崎県、長崎県高度情報化推進協議会、岩見沢市

次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会、総務省北海道総合通信局

参加者：104名（うち交流会79名、宿泊58名）

日時(場所)		内容
1/22 (木)	13:00 -17:00 (五島市福江文化 会館3F展示室)	《第1部》 ◇開会挨拶..... [13:00-13:10] ・九州情報通信連携推進協議会(KIAI)会長 尾家祐二 ・長崎県五島市長 中尾郁子 ・総務省九州総合通信局長 武井俊幸 ◇基調講演1.....[13:10-13:50] テーマ「ICTを活用した中山間地域活性化の取り組みについて」 ・福岡県東峰村総務課IT推進室長 小林純一 ◇デモンストレーション(遠隔交流授業).....[13:50-14:45] ・五島市立緑丘小学校～岩見沢市立岩見沢小学校(北海道) ～休憩～ [14:45-14:50] ◇基調講演2.....[14:50-15:30] テーマ「インターネットの通信手段と地域社会」 ・パナソニックコミュニケーションズ(株)代表取締役副社長 水谷幹男 ～休憩～ [15:30-15:40] ◇パネルディスカッション(昼の部).....[15:40-17:00] テーマ:「ブロードバンドは地域社会に何をもたらすのか」 コーディネーター:長岡技術科学大学情報通信システム工学教授 山崎克之 パネリスト ・長崎総合科学大学人間環境学部環境文化学科教授 横山正人 ・九州工業大学ネットワークデザイン研究センター教授 阿留多伎明良 (元NEC通信システム(株)執行役員) ・長崎県総務部理事 島村秀世 ・長崎県五島市長 中尾郁子 *最新のICTサービス・ソリューション展示ブースを会場内に併設
	18:00 -21:00 (五島コンカナ王国 DEJIMAホール)	◇交流会..... [18:00-19:00] 《第2部》 ◇パネルディスカッション(夜の部).....[19:00-21:00] 「本音で語る、これからの地域情報化とは！」 チェア:長崎大学工学部情報システム工学科准教授 藤村 誠 ファシリテーター:長岡技術科学大学情報通信システム工学教授 山崎克之 パネリスト・長崎大学工学部教授 石松隆和 ・長崎県五島市企画課広報係長 山下 登 ・考える有限会社取締役 三海 隆宏 ・KIAIコーディネーター 佐賀大学理工学部教授 渡辺健次 大分県企画振興部IT推進課主査 清水宣雄 宮崎地域インターネット協議会事務局長 井上英幸
1/23 (金)	09:00 -12:00	《第3部》 ◇事例紹介..... [09:00-12:00] ・ICTを活用した地域振興事例(e-むらづくり事業)紹介及び施設訪問



挨拶する五島市・中尾市長



講演するPCC・水谷副社長



遠隔交流授業の様子

パネルディスカッション第1部の様子

[左:岩見沢市(北海道) 右:緑丘小(五島市)] (五島市福江文化会館)



第1部会場の様子

(五島市福江文化会館)



パネルディスカッション第2部の様子
(五島コンカナ王国)



事例紹介の様子(於:センター設備)



施設見学の様子(大窄無線中継施設)



第2部参加者集合写真

【参考資料8】平成20年度 KIAI 総会記念シンポジウム

◇総会記念シンポジウム概要

開催日：平成20年7月11日（金）13:30～18:00

会場：電気ビル地下2階 6号会議室

主催：九州情報通信連携推進協議会、総務省九州総合通信局
（社）九州テレコム振興センター

共催：九州電力（株）、ヒューマンメディア財団、九州インターネットプロジェクト

後援：（社）九州経済連合会、次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会

特定非営利活動法人NetComさが、（財）ハイパーネットワーク社会研究所
宮崎地域インターネット協議会

協賛：情報通信月間推進協議会

参加者：79名

	内容
基調講演／ パネルディス カッション	<p>《基調講演》 講師：児玉 俊介氏（総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課長） テーマ：「ICT研究開発戦略 ～UNS研究開発戦略プログラムⅡ～」</p> <p>《パネルディスカッション》 テーマ：「ICTを活用した地域社会における安心・安全の確保」 ～地域社会の安心・安全を支えるICTプラットフォームの構築に向けて～</p> <p>【コーディネーター】 尾家 祐二氏（九州工業大学大学院情報工学研究院 教授） 【パネリスト】 山崎 正幸氏（岩手県宮古市危機管理課主査） [三陸大津波の体験に基づく防災情報システムの導入運営] 山田 倫史氏（大分県農林水産部家畜衛生飼料室主任） [鳥インフルエンザ体験による家畜防疫マップシステムの導入運営] 本多 正幸氏（長崎大学情報メディア基盤センター長） [離島医療問題等におけるICTの果たす役割] 小川 学氏（島原市総合政策課長） [地域児童見守りシステムモデル事業の取り組み]</p>



上) 基調講演する総務省・情報通信国際戦略局 児玉課長
下) シンポジウム会場の様子



(パネルディスカッションのパネラーの方々)

上段左から 宮古市・山崎氏、大分県・山田氏
下段左から 長崎大・本多教授、島原市・小川課長

【その他】

・第229回 RIST フォーラム（後援・出演）

◇フォーラム出演概要

日 時：平成20年8月28日（木）14:00～17:10
会 場：ホテルサンルート熊本 5階 不知火の間（熊本市下通1-7-18）
主 催：熊本知能システム技術研究会（RIST）
共 催：熊本工業連合会、NEXT 熊本
後 援：九州情報通信連携推進協議会
講演内容：「九州情報通信連携推進協議会（K I A I）が目指すもの」

■講演者

九州情報通信連携推進協議会 事務局長 広岡 淳二

■ゲストスピーカー（KIAI コーディネーター）

NetComさが 事務局長 西村 龍一郎

ハイパーネットワーク社会研究所 事務局長 青木 栄二

宮崎地域インターネット協議会 副会長 長友 信裕

・テストベッドネットワーク推進ワーキンググループ会合（出演）

◇ワーキンググループ会合出演概要

日 時：平成20年10月1日（水）15:20～17:50
会 場：ホテルグリーンタワー幕張（千葉市美浜区ひび野2-20-3）
事務局：新世代ネットワーク推進フォーラム・テストベッドネットワーク推進WG
出演内容：一般利用研究の事例紹介

「九州情報通信連携推進協議会の活動概要」

■プレゼンター 九州情報通信連携推進協議会 事務局長 広岡 淳二

・条件不利地域におけるブロードバンド導入公開実証実験（出演）

◇公開実証実験出演概要

日 時：平成20年10月31日（水）10:30～12:30
会 場：八女市上陽地区 東山コミュニティーセンター
主 催：八女市ブロードバンド基盤整備および利活用促進課実施計画策定のための調査研究会

出演内容：防災支援システム（WIDIS）の紹介およびデモ展示

■プレゼンター 九州情報通信連携推進協議会 事務局長 広岡 淳二

- ・九州インターネットプロジェクトワークショップ（支援）

◇ワークショップ支援概要

日 時：平成 20 年 11 月 14 日（金）13:00～15 日（土）12:00
会 場：休暇村 志賀島（福岡市東区大字勝馬）
主 催：九州インターネットプロジェクト（QBP）
イベント内容：講演 9 件、パネルセッション 1 件
支援内容：イベント運営全般

- ・JGN2plus 岩手中部 WiMAX 研究会（出演）

◇研究会出演概要

日 時：平成 20 年 12 月 19 日（金）13:30～17:00
会 場：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 1（岩手県盛岡市）
主 催：岩手県中部 WiMAX 研究会、岩手県立大学地域防災情報研究所
東北情報通信懇談会、銀河ネットワーク
共 催：静岡県立大学情報センター
後 援：岩手県
講演内容：「九州地域における防災・防疫のための緊急時通信システム」
■講演者 九州情報通信連携推進協議会 事務局長 広岡 淳二